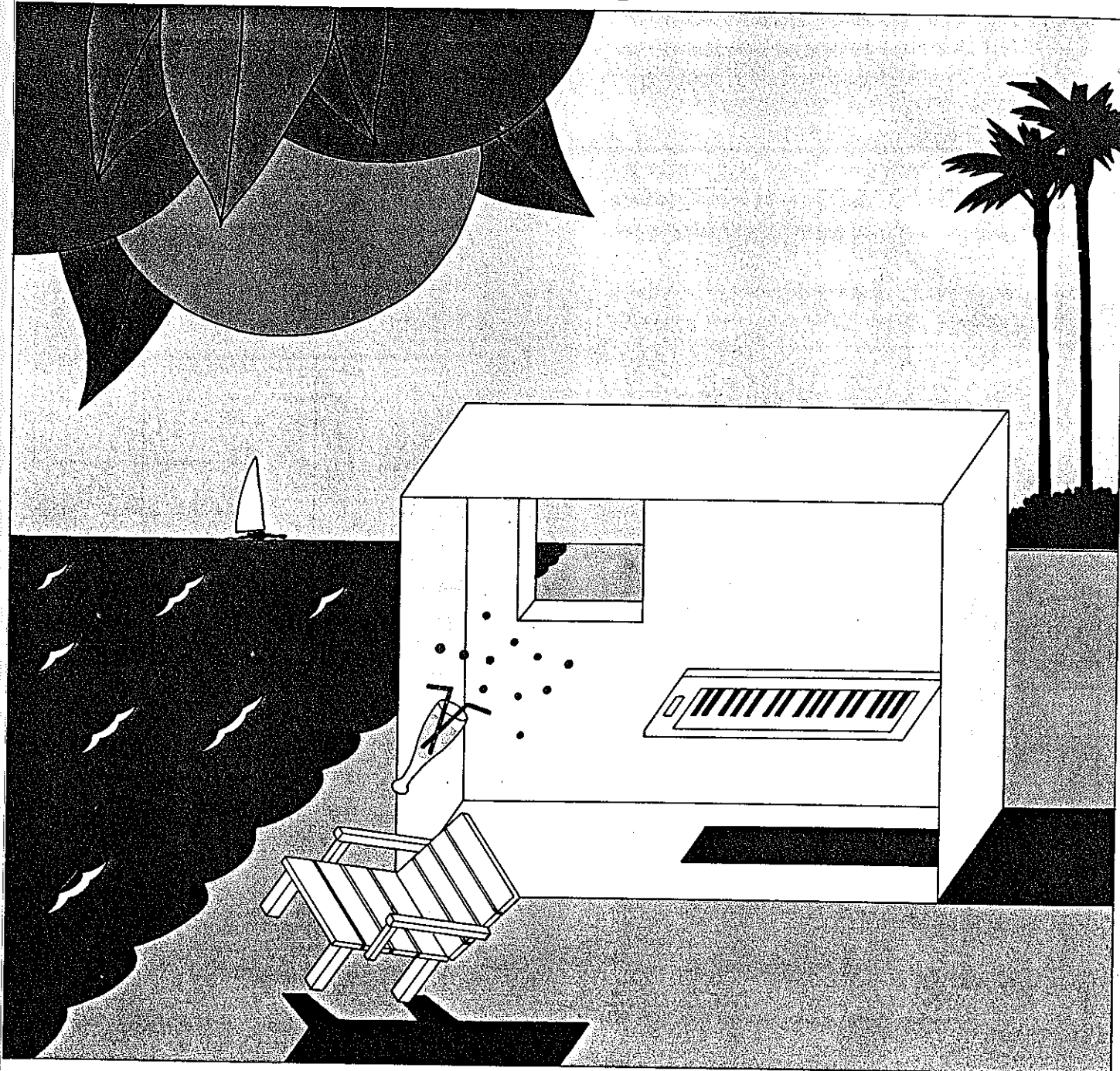


PS-10

プレイング・ガイド



YAMAHA

このたびは、ヤマハポータートーンPS-10をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

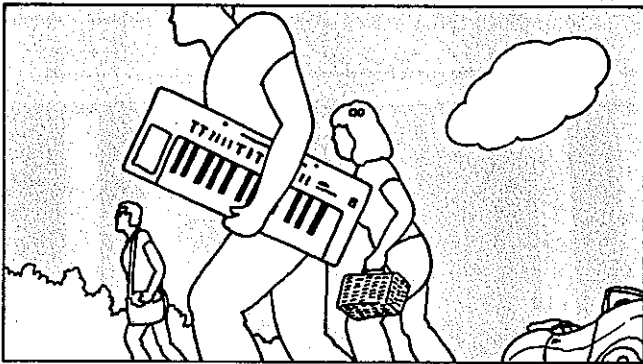
ポータートーンは、新しい音楽の楽しみ方を見つける自由な鍵盤楽器。楽器づくりの経験豊かなヤマハが、最新の電子技術を駆使してつくりあげました。ピアノやストリング、クラリネットなど6種類の楽器音が、ワンタッチで選べる多彩な音色、指1本でも自動伴奏ができるオートベースコードなど、数多くの楽しさをぎっしりおさめたコンパクトボディ。いつでも、どこでも、どなたにも、気軽に演奏をお楽しみいただけます。本書では、PS-10の魅力を充分ご利用いただけるよう、正しい取扱い方をご説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

	ページ
●弾く楽しさを自由に広げる ポータートーンPS-10	①
●各部の名称と基本的な使い方	②
●電源は電池orACコンセント —電池の入れ方と電源パックの使い方	④
●〈オーケストラ音色〉 好きなサウンドを選んでフリープレイ	⑤
●〈オートリズム〉 ドラムスを加えてリズムックプレイ	⑥
●〈オートベースコード〉 伴奏はコードにベースを加えてオートプレイ	⑦
●ブレイクノート	⑧
●レッツプレイノポータートーン	⑨
●〈外部端子〉 楽しさをさらに広げるために	⑫
●オプション(別売)	⑬
●取扱い上の注意	⑮
●操作上の注意	⑮
●仕様	⑮
●アフターサービスと保証	⑰

弾く楽しさを自由に広げる PORTATONE PS-10

①ポータブル

PS-10は、弾く楽しさを満載して、わずか5.3kg(電池別)という軽さ。しかも電源は乾電池、AC電源、カーバッテリー(アダプター別売)、どれもOK。インドアで楽しめるのはもちろん、ドライブに、キャンプに、パーティーに、ファッションブルなソフトケースにおさめてどこへでも気軽に持っていけるポータビリティが魅力です。



②ビューティフルトーン

PS-10は、ワンタッチ操作でイメージ通りの音選び。ピアノ、ストリング、オルガンなど、6種類のオーケストラ音色は、最新の電子技術を結集した美しい響きで、和音演奏も楽しめます。

③イージー&ワンダフルプレイ

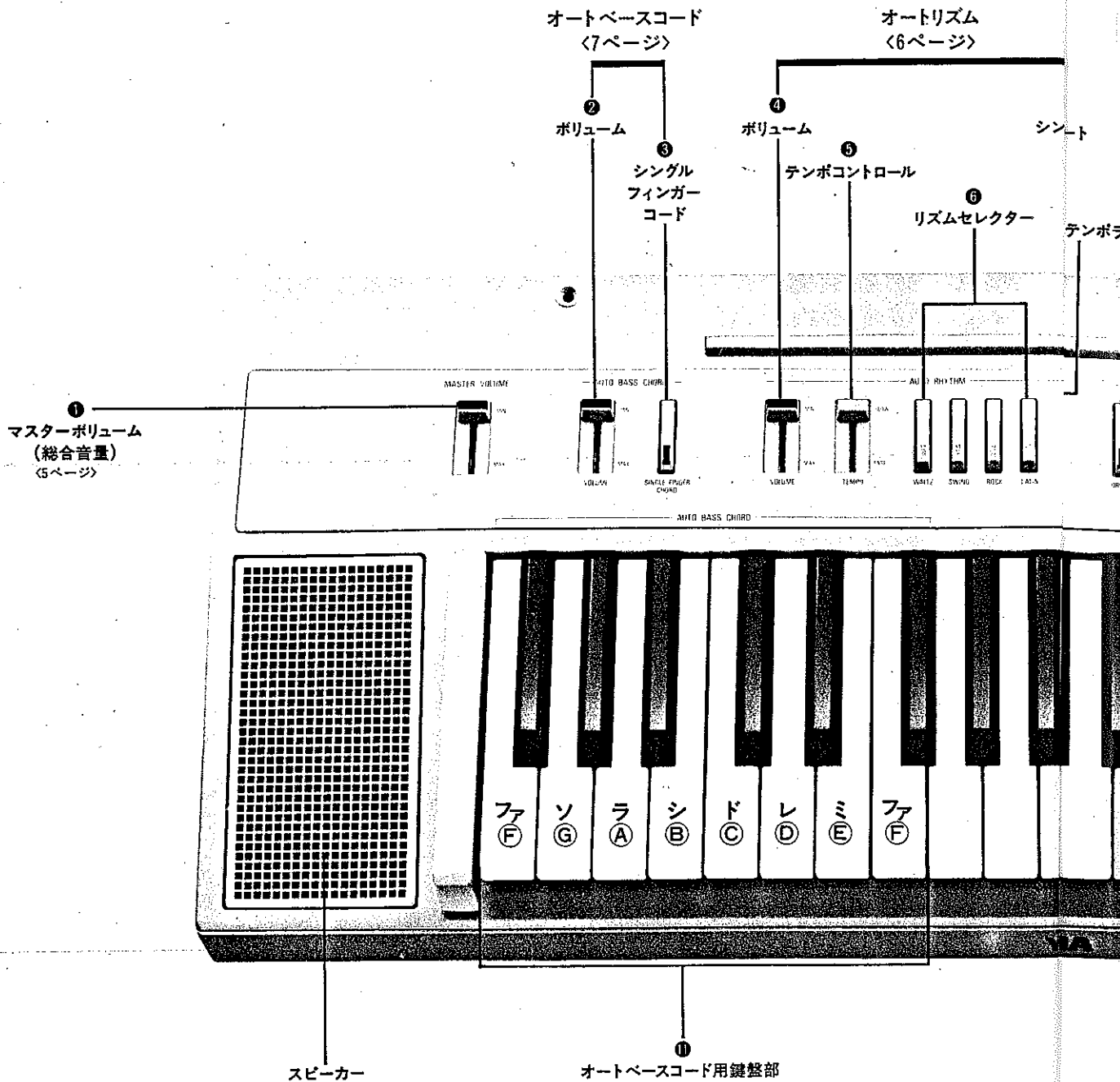
PS-10は、全く鍵盤経験のない方から、ハイグレードな演奏者まで、どなたにも気軽に華やかなプレイを楽しんでいただけます。その秘密は、オートリズム、オートベースコードという2つのファンブロック(お楽しみ機能)。

オートリズムは、いわばリズムボックス。シンバルやスネアドラムなどの打楽器音で、軽快なリズムを自動的にきざみます。

オートベースコードは、コード(和音)とベース音による自動伴奏。“弾くのは苦手”という方でも指1本で簡単に伴奏づけができます。

初心者からハイグレードな演奏者まで、それぞれに楽しめるオートリズムとオートベースコードは、弾く楽しさを大きく広げます。



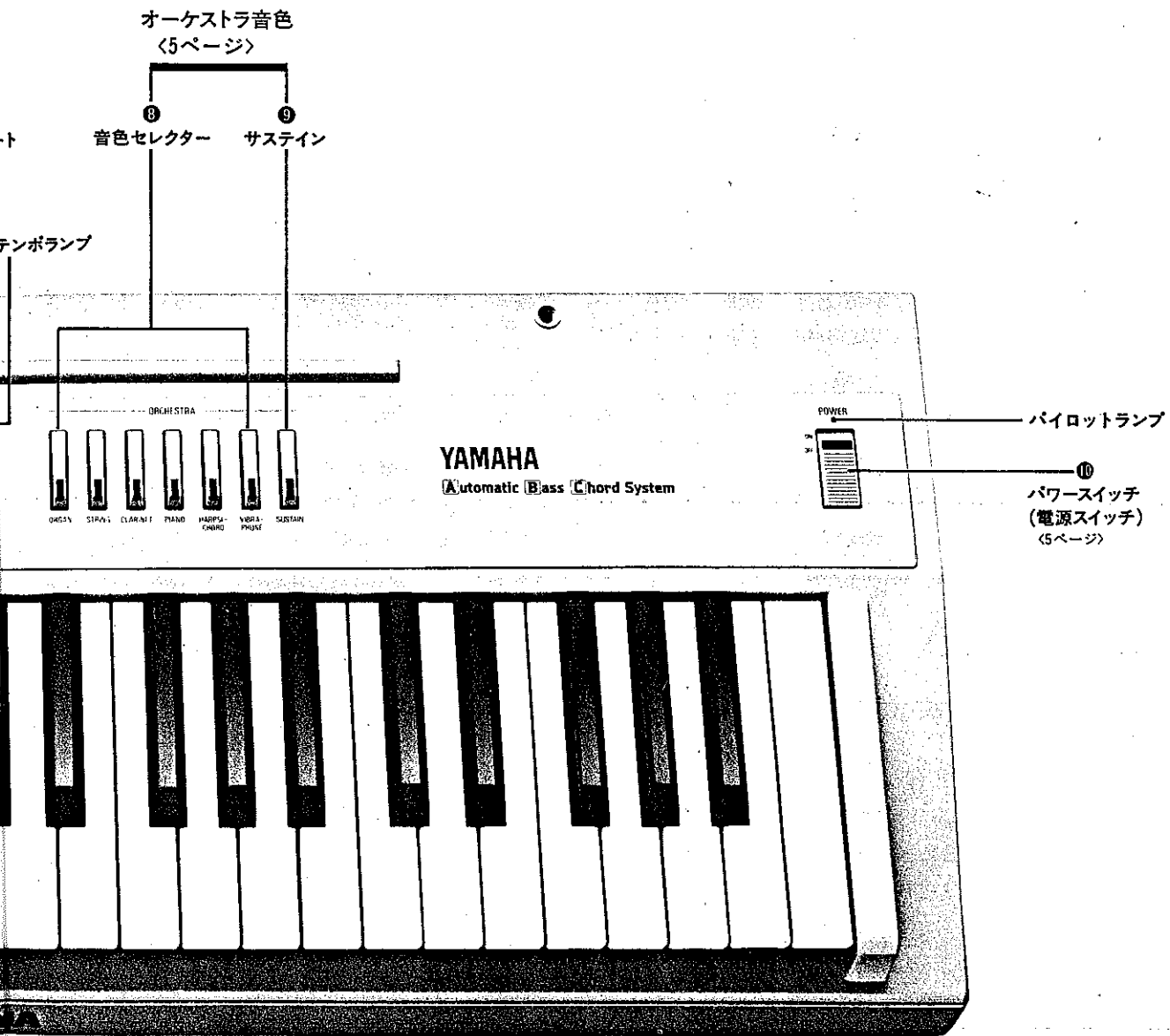


各部の名称と基本的な使い方

- ① マスターボリューム(総合音量)
全体の音量を調節するレバーです。
- ② オートベースコードボリューム
オートベースコードの音量を調節するレバーです。
- ③ シングルフィンガーコード
オートベースコード用鍵盤をひとつおさえるだけで、その音をもとにした和音(メジャーコード)とベース音の

伴奏が、リズムによって自動的に出てきます。

- ④ オートリズムボリューム
リズム音の音量を調節するレバーです。
- ⑤ テンポコントロール
リズムの速さを調節するレバーです。
- ⑥ リズムセレクトター
リズムの種類を選ぶボタンです。



⑦ シンクロスタート

オートベースコード用鍵盤部を押すと同時に、リズムを第1拍目からスタートさせます。

⑧ オーケストラ音色セレクト

主にメロディーを弾く音色を選ぶボタンです。

⑨ サステイン

オーケストラ音色に自然な余韻をつけるボタンです。

⑩ パワースイッチ

パイロットランプが点灯すれば、電気が通じています。

⑪ オートベースコード用鍵盤部

オートベースコードを使って自動伴奏をするとき、伴奏を受けもつ鍵盤です。

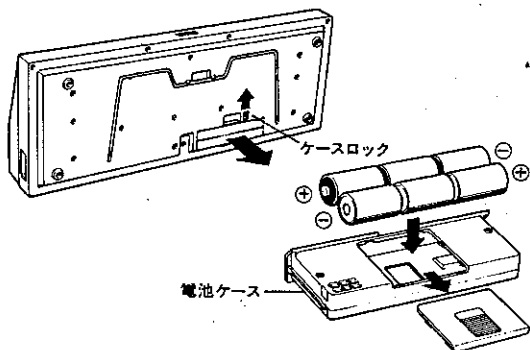
電源は電池 or ACコンセント

—電池の入れ方と電源パックの使い方—

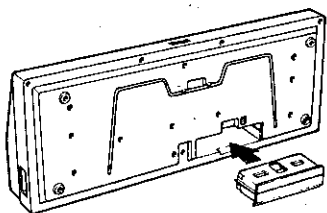
PS-10は、乾電池とAC電源どちらでもお使いいただけます。演奏する場所や用途に応じて使いわけてください。(カーバッテリー電源でもお使いいただけます。接続方法などは13ページを参照してください。)

〔電池の入れ方〕

まず、本体を横にして電池ケースの右上にあるケースロックを矢印の方向に押しながら、電池ケースをひきだしてください。電池ケースの蓋をスライドさせてはずし、単1乾電池6個を入れます。⊕⊖の向きをまちがえないように注意してください。



電池を入れたら、電池ケースの蓋をしめ、本体におさめます。ロックされるまで、しっかりとさしこんでください。

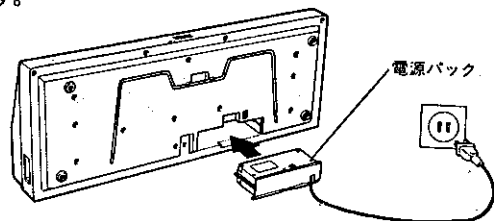


★パイロットランプが点滅しはじめたら、新しい電池をご用意ください。

★長くご使用にならないときは、液もれなどによる故障をさけるためにも、電池ははずしておきましょう。

〔電源パックの使い方〕

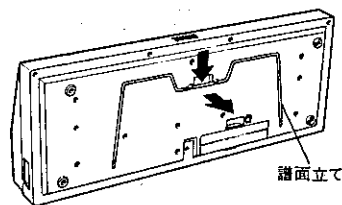
電池ケースのかわりに、電源パックを図のようにしっかりとロックされるまでさしこみ、プラグをコンセントにさしこんでください。電源パックと電池ケースは同じサイズですから、交換は簡単にできます。



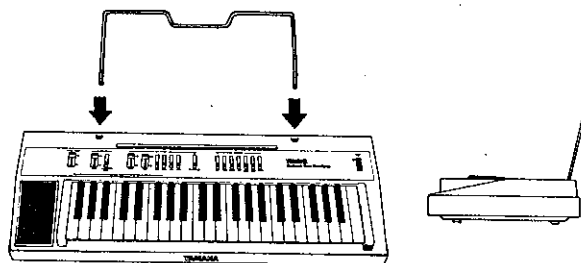
★電源パックをお使いにならないときは、必ずプラグをコンセントから抜いておいてください。

●譜面立ての立て方

本体を横にし、譜面立ての取りはずし口に指をかけ、矢印の方向に力を入れてはずしてください。

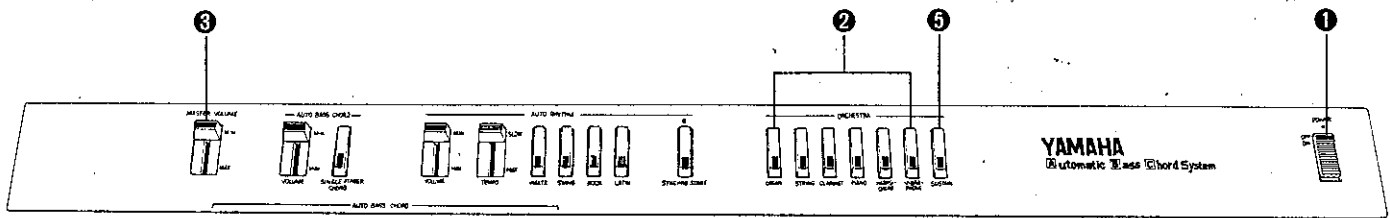


本体をもどし、コントロールパネルの上にある2つの穴に譜面立ての両端をさしこめばOK。



好きなサウンドを選んでフリープレイ

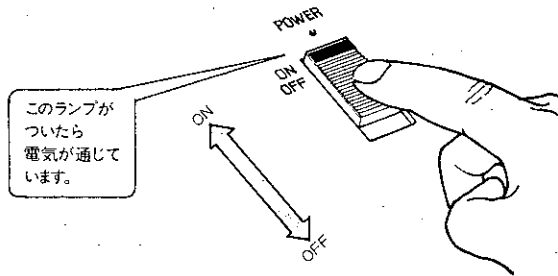
オーケストラ音色



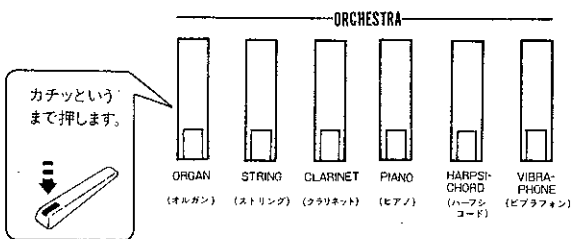
オーケストラ音色は、ボタンをひとつ押すだけで好きな楽器音を選べます。また、8音まで(オートベースコードを使っていないとき)の和音演奏もできます。

★電池ケースに電池が正しくおさめられていること、あるいは、電源パックが正しくおさめられていること、プラグがコンセントにさしこまれていることを確認してください。

① パワースイッチ(POWER)をON。

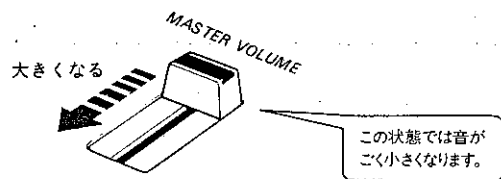


② オーケストラ音色セレクター(ORCHESTRA)から、ひとつ選んでON。



★オーケストラ音色セレクターを2つ以上同時に押した場合は、右側の音色が優先されます。また、音色セレクターを押すと、前に選んだ音色は自動的にキャンセルされます。

③ マスターボリューム(MASTER VOLUME)で音量を調節。

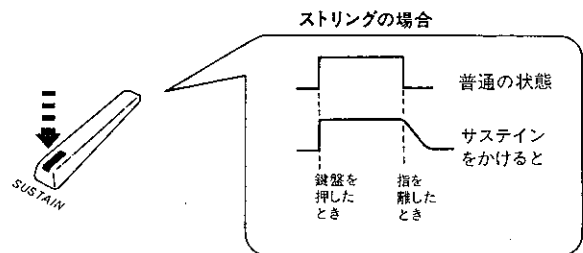


④ 鍵盤をおさえてみる。

選んだ音色が出てきたことと思います。ほかの音色に変えて、いろいろなメロディーを弾いてみましょう。

★オートベースコードのシングルフィンガーコードのボタンが押されていると、オートベースコード用鍵盤部では、選んだ音色は出なくなります。(7ページ参照)

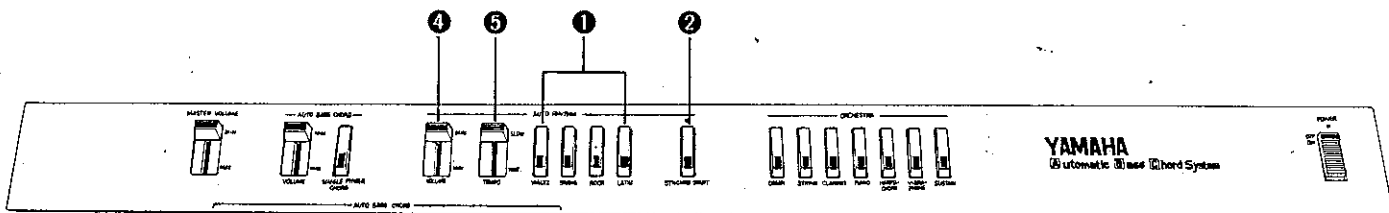
⑤ サステイン(SUSTAIN)を押して、音に余韻を。



サステインとは、音にピアノのような自然な余韻をつける効果です。このボタンを押すと、オーケストラ音色に余韻がつき、鍵盤から指を離れたあとも音が残って、自然に消えていく感じになります。

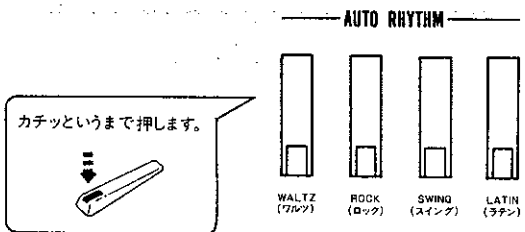
ドラムスを加えてリズムミックプレイ

オートリズム



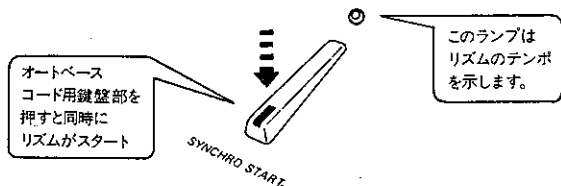
オートリズムは、シンバル、スネアドラムなど、歯切れのよい打楽器音で軽快なリズムを自動的にきざみます。

①リズムセレクターをひとつON。



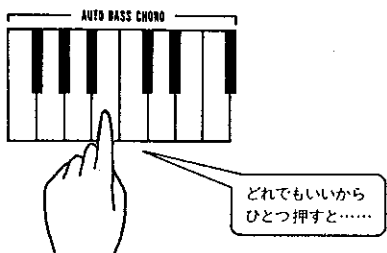
★ワルツ(WALTZ)は3拍子、そのほかのリズムは4拍子です。

②シンクロスタート(SYNCHRO START)をON。



★リズムをとめるときは、シンクロスタートボタンをもう一度押してください。

③オートベースコード用鍵盤をどれか押すと、リズムがスタート。

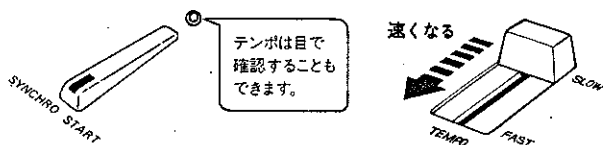


★リズムは第1拍目から鳴りはじめます。メロディーのタイミングとうまく合わせて、オートベースコード用鍵盤を押してください。

④オートリズムボリューム(VOLUME)で、リズムの音量を調節。



⑤テンポコントロール(TEMPO)でリズムの速さを調節。



〈テンポランプ〉

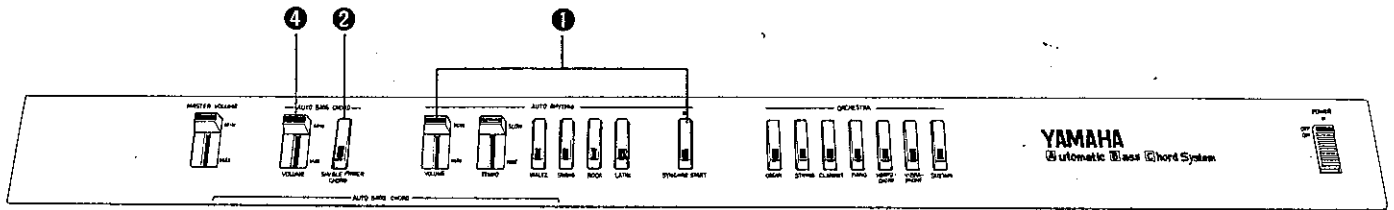
シンクロスタートボタンにある赤いランプの点滅は、リズムの速さを示します。リズムが鳴っているときはリズムの小節の第1拍目に、シンクロスタートを入れ、まだリズムをスタートさせていない間は、4分音符の単位で点滅します。

⑥リズムにあわせてメロディーを。

それでは、リズムをつけてメロディーを弾いてみましょう。リズムにのりにくいときは、テンポランプを見ながら“1、2、3、4”と頭の中で数えながら弾くと、うまくいきます。

伴奏はコードにベースを加えてオートプレイ

オートベースコード



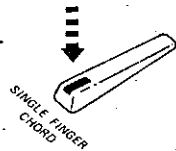
オートベースコード(AUTO BASS CHORD)は、和音とベース音による自動伴奏。鍵盤をひとつおさえるだけで、3和音とベース音による自動伴奏ができます。

①オートリズムをセット。

リズムセレクター、シンクロススタート、およびボリュームとテンポをそれぞれセットしてください。

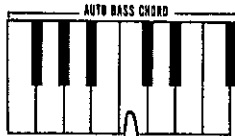
②シングルフィンガーコードのボタンをON。

これを押すと指1本で和音とベース音の自動伴奏。



③オートベースコード用鍵盤をおさえる。

オートベースコード用鍵盤(「AUTO BASS CHORD」14鍵)を、どれかひとつおさえてみましょう。和音とベース音がリズムのつて出てきます。



どれでもいいからひとつ押すと……

★オートリズムをセットせずにオートベースコードを使うと、和音とベース音の伴奏はリズムにのらない音(持続音)になります。

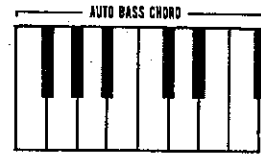
★オートリズムとオートベースコードを同時に使ったとき、和音の伴奏の音色はピアノの音色になります。また、オートリズムを使わない持続音の伴奏の場合は、オルガンの音色になります。

④オートベースコードボリューム(VOLUME)で自動伴奏の音量を調節。



この状態ではほとんど音は出ません

⑤シングルフィンガーコードを使った伴奏で曲を弾いてみましょう。

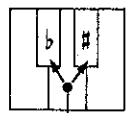


コードネーム
G A B C D E F
ソ ラ シ ド#レ#ミ ソラ
シ ド#レ#ミ ソラ
レ ミ ソラ シ

でてくる和音(メジャーコード)

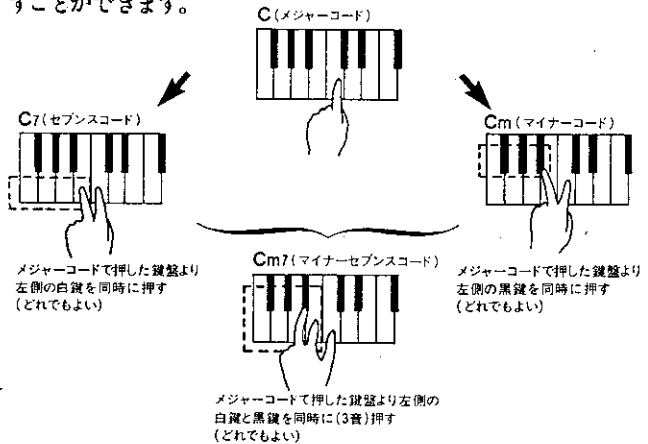
上の図は、オートベースコード用鍵盤をおさえる位置と、でてくる和音の関係を示したものです。

● #、bのついているコードの出し方
コードネームの中には、(B^b)のように#(シャープ)やb(フラット)のついているものがあります。その場合、#は右上の黒鍵を、bは左上の黒鍵をおさえてください。



(アルファベット)

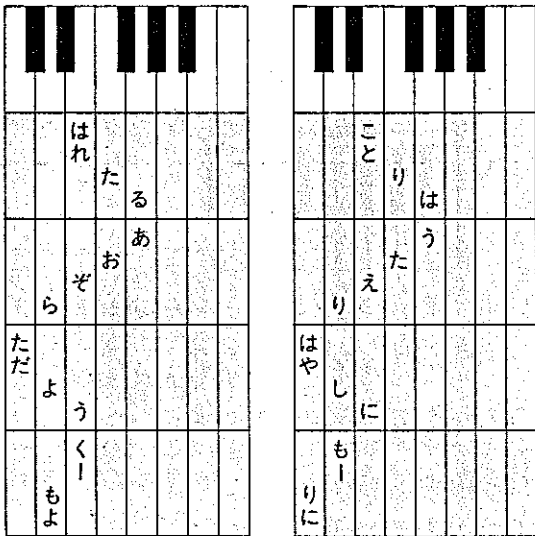
●セブンスコード、マイナーコードの出し方
伴奏はメジャーコードだけに限らず、例えば[G⁷]のようなセブンスコード、[A^m]のようなマイナーコードもよく使われます。これらのコードは、下図のように2つの鍵盤を同時におさえることで出すことができます。



プレイングノート —楽しい演奏のために—

①こんなふうに鍵盤をおさえればOK。

まず弾いてみましょう。よく知っている曲ですから、音の長さはわかりますね。



②指づかいに工夫を。

PS-10の演奏には、むずかしい運指は必要ありませんが、スムーズに弾くためには、こんな指づかいを覚えておくと便利です。



となりの音は
となりの指で。

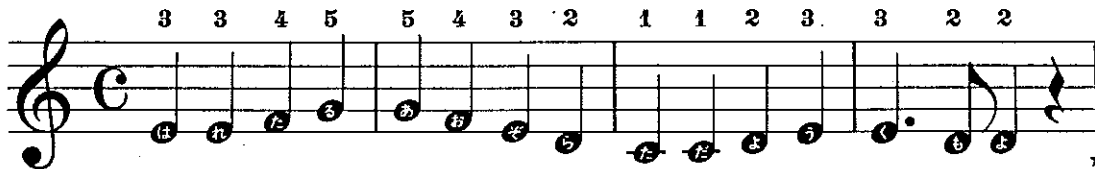


広い音域では
指を交差させて
スムーズに。



弾いてみましょう

ベートーベン 第9交響曲「合唱」第4楽章 より

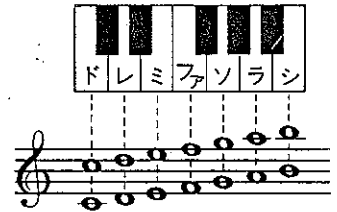


Freu-de schö-ner Göt-ter-fun-ken, Toch-ter aus E-ly-si-um,

★楽譜の上についてある番号は、指づかいの例です。

③五線譜の読み方は。

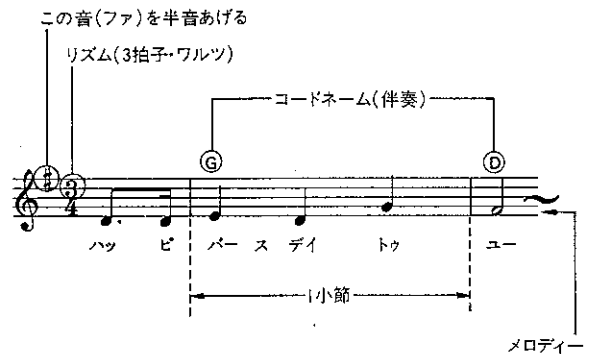
はじめに、鍵盤と五線譜の関係を示してみると…



次によく使われる記号を覚えましょう。

音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ	休符の種類と名称	4分休符と比較した長さ
○ 全音符	↑ ↑ ↑ ↑ 4つ分のばす	— 全休符	よよよよ 4つ分休む
◡ 付点2分音符	↑ ↑ ↑ 3つ分のばす	— 付点2分休符	よよよ 3つ分休む
↑ 2分音符	↑ ↑ 2つ分のばす	— 2分休符	よよ 2つ分休む
↑ 4分音符	↑ 1つ分のばす	よ 4分休符	—
♩ 8分音符	♩ (↑ = ↑) 半分のばす	♪ 8分休符	♪ (♪ = ♪) 半分休む

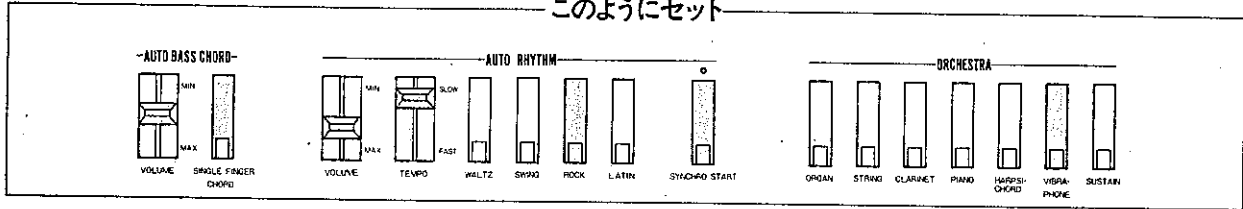
では、実際に五線譜を見てください。これだけ知っていれば、いっつでも弾けます。



レッツプレイ!ポータートーン

PORTATONE

このようにセット



四季のうた

荒木とよひさ 作詞・作曲

Medium Rock

Am Dm Am

1. は る を あ い す る ひ と は こ こ ろ き よ き ひ と
 2. な つ を あ あ い す る ひ と は こ こ ろ き よ き ひ と
 3. あ つ き を あ あ い す る ひ と は こ こ ろ き よ き ひ と
 4. ふ ゆ を あ あ い す る ひ と は こ こ ろ き よ き ひ と

Dm Am E7 Am

す い み れ の は な の よ な 一 ぼ ぐ の と も だ ち
 い わ わ を く か た なく の の の よ な な ぼ ぐ の と も だ ち
 あ わ い を を か と かる す の の の の の よ な な ぼ ぐ の と も だ ち
 ゆ き を を と か す す たい ち の の の の の よ な な ぼ ぐ の と も だ ち
 き を を と か す す たい ち の の の の の よ な な ぼ ぐ の と も だ ち
 き を を と か す す たい ち の の の の の よ な な ぼ ぐ の と も だ ち
 き を を と か す す たい ち の の の の の よ な な ぼ ぐ の と も だ ち
 き を を と か す す たい ち の の の の の よ な な ぼ ぐ の と も だ ち

©1971 by IZUMI KIKAKU Co., Ltd. 日本音楽著作権協会(出)許諾 8108797号

Am



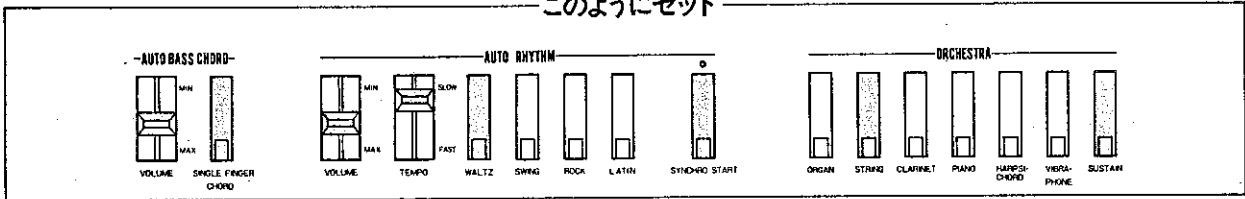
Dm



E7



このようにセット



知床旅情

森繁久彌 作詞・作曲

Slow Waltz

C F C C

し れ と こ の み さ き に は ま な

G C C

す の さ く こ ろ お も い だ し

F C C G

て お く れ お れ た ち の こ と

C G C

を の ん で さ わ い で

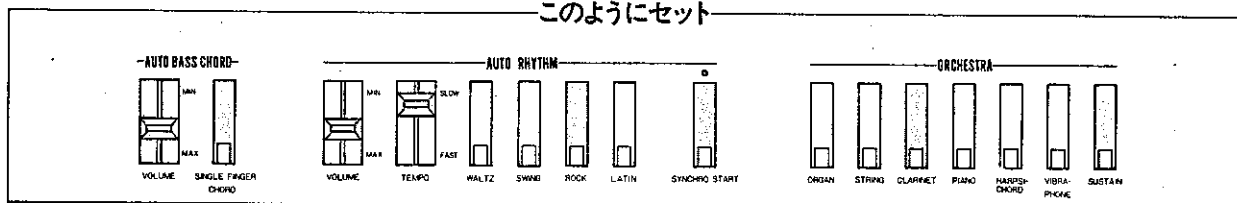
F C C7 F C

お か に の ぼ れ ば は る か く な

C C G C

し り に びや く や は あ け る

このようにセット



Medium Rock

思い出のグリーングラス

山上路夫 訳詞
C. プットマン 作曲

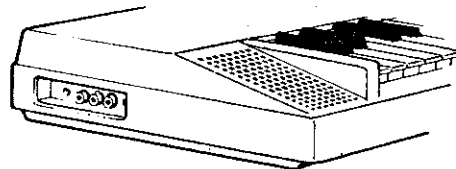
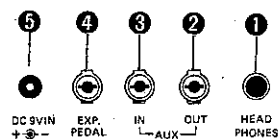
Chord progressions: G, C, G, G, D7, G, G, D7, G, G, D7, G

きしから おりたら ちいさい えきで むかー
 えてくれる ママと パパ てをふ
 りながらよぶのは かれの すがたなの お
 もいで の グリン グリン グラス オブ ホー ム てをふ
 りながらよぶのは かれの すがたなの お
 もいで の グリン グリン グラス オブ ホー ム

楽しさをさらに広げるために

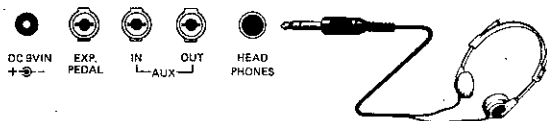
外部端子

PS-10の本体左側には、図のような外部端子がついています。これらを活用すれば、PS-10の楽しさはいっそう広がります。



① HEADPHONES端子

ヘッドホンを接続する端子で、ステレオ、モノラルどちらのタイプのヘッドホンでもご使用になれます。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーからは音が出ませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。



オプション(別売)

●ライトウエイトヘッドホン(YH-51)



② AUX OUT端子

A. より豊かな音量で。

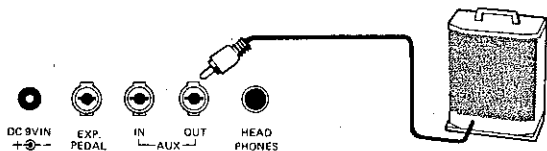
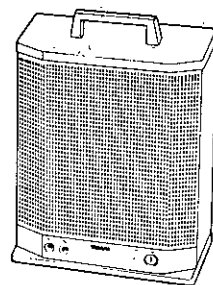
PS-10は、内蔵のスピーカーでも十分な音量でお楽しみいただけますが、パーティーや戸外での演奏など、より大きな音量が必要なときには、このAUX OUT端子を使って、トーンキャビネットやアンプなどに接続してください。迫力あるサウンドが楽しめます。

また、ステレオなどのスピーカーから音を出したいときにも、この端子を使います。ステレオなどのLINE INジャックに接続してください。

オプション(別売)

●トーンボックス(TO-1)

(TO-1)は、3電源方式ですから戸外での演奏にも最適です。

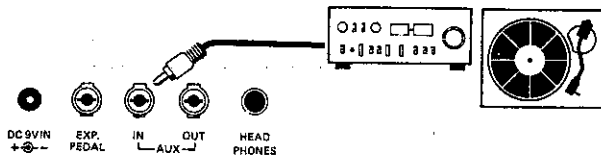


B. 演奏を録音

PS-10の演奏を録音したいときは、このAUX OUT端子を使って、テープデッキのLINE INジャックに接続してください。録音レベルは、テープデッキで調整できます。

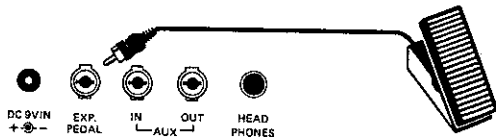
③ AUX IN端子

レコードやテープの音をPS-10本体のスピーカーから出したいときに使う端子です。レコードやテープの音量は、PS-10のマスターボリュームでは調節できませんから、ステレオやテープデッキの音量コントローラーをお使いください。



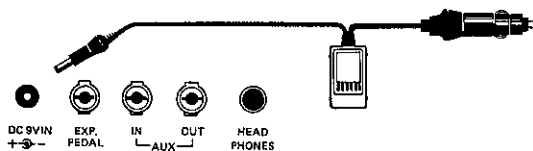
④ EXP. PEDAL 端子

エクスプレッションペダルは、演奏中、足で自由に音量を調節することができるペダルです。このEXP. PEDAL端子に接続してお使いください。



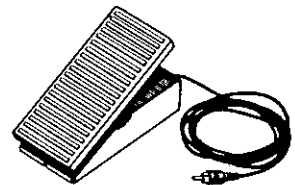
⑤ DC 9V IN端子

カーバッテリー(シガーライターソケット)から電源をとるときには、この端子を使います。専用のカーアダプターを接続してください。



オプション(別売)

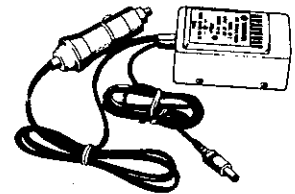
●エクスプレッションペダル(EP-1)



オプション(別売)

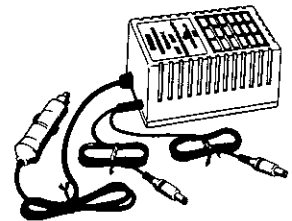
●カーアダプター(CA-1)

車のシガーライターソケットから本体へ電源を供給します。このアダプターは、異常電圧から本体を保護するための回路を内蔵しています。



●カーアダプター(CA-2)

接続コードが2つに分かれているタイプで、本体と同時にトーンボックスなどへの電源が取りだせます。



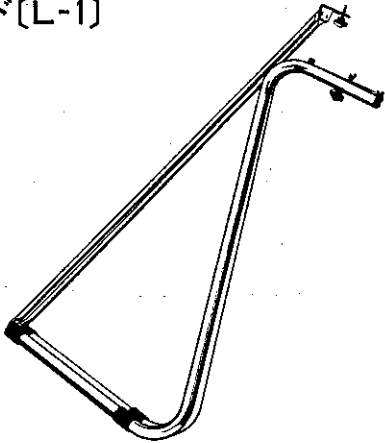
★PS-10には(CA-1)または(CA-2)をご使用ください。他のアダプターをご使用にならないようにお願いします。

オプション(別売)

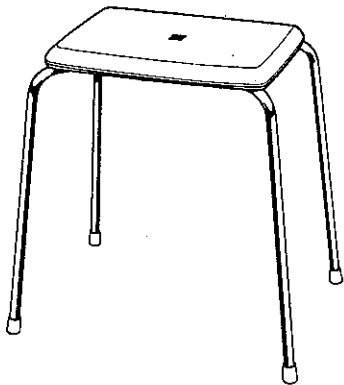
PORTATONE

PS-10には、外部端子の項でご紹介したほかにも、楽しさを広げるオプションがいろいろあります。

●スタンド[L-1]

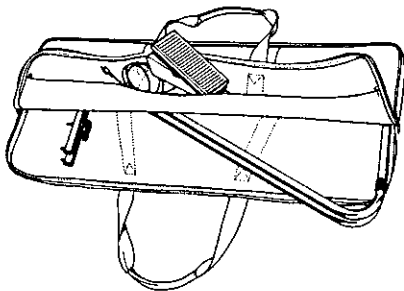


●イス[BC-2]



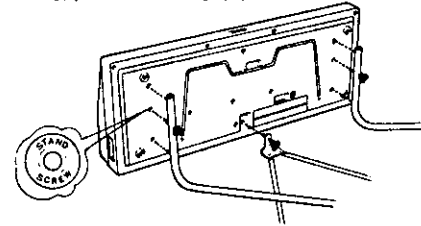
●スタンドケース[SC-1]

PS-10本体のソフトケースと同じデザインの布製スタンドケースです。スタンドのほか、エクスプレッションペダルなどオプションが入るポケット付きです。

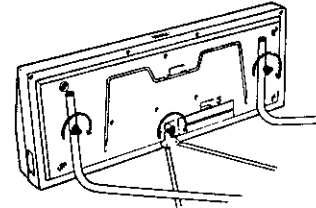


＜スタンドの取付け方＞

①まず、PS-10の裏側にあるスタンド取付け用の穴に、スタンドパイプの突部をはめこみます。

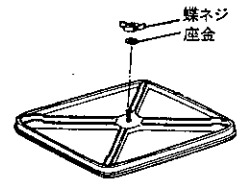


②付属の蝶ネジを、それぞれしっかりととめてください。

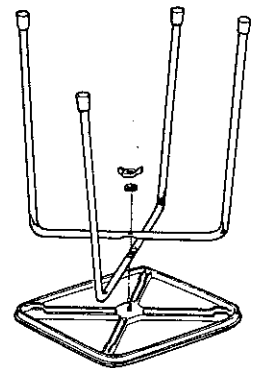


＜イスの組み立て方＞

①シートを裏返して、蝶ネジと座金をはずしてください。



②2本の脚を図のようにシートのはめこみ(脚の組み合わせ方をまちがえないようにしてください)、座金をはめてから蝶ネジでしっかりととめます。

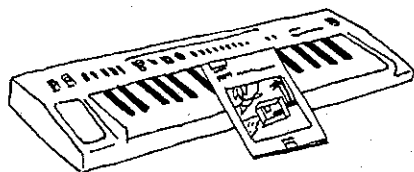


取扱い上の注意

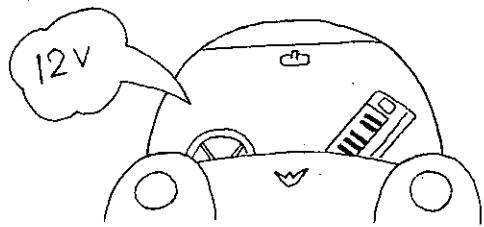
PORTATONE

PS-10を長くお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。

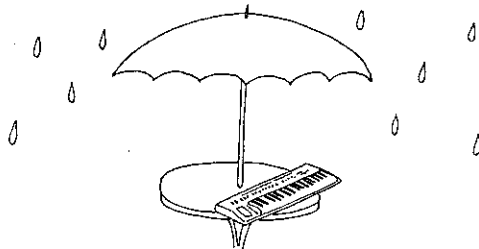
- ①電源は、乾電池、家庭用ACコンセント、カーバッテリーの3つを使用することができます。(カーバッテリーを使用する場合は専用のアダプターが必要です。)それぞれの接続方法などについては、説明書をよくお読みください。



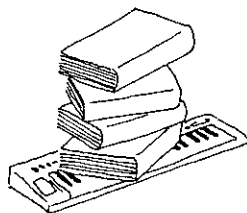
- ②カーアダプター(別売)は、12Vマイナスアース車専用です。接続する前に、車のバッテリーが12Vのものであることを必ず確認してください。



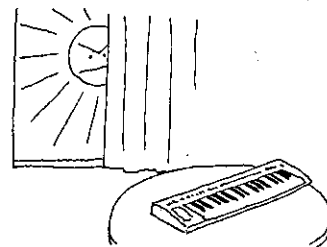
- ③特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。



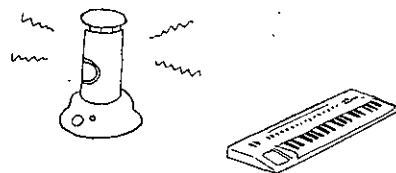
- ④過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落したり、上に座ったりしないように注意してください。



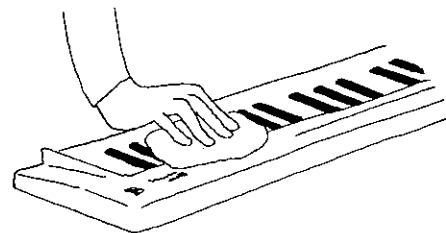
- ⑤強い直射日光に長時間さらすことはさけてください。



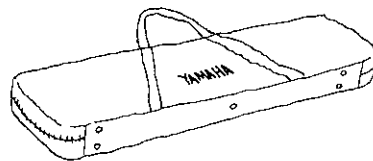
- ⑥暖房器具のそばに置いたり、日中、車内に長時間放置しておくことはさけてください。車の窓を閉めきっているとき、直射日光が当たっていると、車内の温度は80℃以上にもなります。極端に温度が高い場所(60℃以上)に置いておくと本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。



- ⑦本体のお手入れは、乾いた柔らかい布でカラぶきしてください。よごれが目立つときは、少し水で湿らせた布でふいてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



- ⑧ホコリや衝撃から守るため、ご使用にならないときは、ソフトケースに収めるようにしてください。



操作上の注意

現 象	原 因	解 決 法
オーケストラ音色セレクターで選んだ音色とは別の音色が出る。	オートベースコードを使っているとき、オートベースコード用鍵盤部で弾いている。	オートベースコードを使っている場合、オートベースコード用鍵盤部では、ピアノ(オートリズムONのとき)、または、オルガン(オートリズムOFFのとき)の音色が出ます。
オーケストラ音色は、鍵盤を同時に9音おさえても8音しか出ない。	オーケストラ音色は最高8音までしか出ないようになっています。(オートベースコードを使用していないとき)	先におさえた鍵盤の音を優先します。
オートリズムの音が出ない。	①リズムセレクターがどれも押されていない。 ②シンクロスタートボタンが押されていない。 ③オートベースコード用鍵盤部を押していない。 ④オートリズムボリュームが最小になっている。	6ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
音色セレクター、またはリズムセレクターを2つ入れても、1種類しか出ない。	オーケストラ音色、およびリズムは、それぞれ一度にひとつしか選べません。	同時に2つ以上入れた場合は右側が優先します。
オートベースコードの音が出ない。または、リズムにのらない。	①シングルフィンガーコードが押されていない。 ②オートベースコード用鍵盤をおさえていない。 ③オートベースコードボリュームが最小になっている。 ④オートリズムがセットされていない。	7ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
オートベースコードで伴奏しているとき、指を変えてもコードが変わらない。	オートベースコード用鍵盤をレガートに(なめらかに)弾いているため。	オートベースコード伴奏では、コードチェンジをするとき、一度指を離すようにしてください。
オートベースコードを使っているとき、オーケストラ音色は、鍵盤を同時に5音おさえても4音しか出ない。	オートベースコードを使っているとき、オーケストラ音色は、同時に4音までしか出ないようになっています。	先におさえた4音が優先します。
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パイロットランプが点滅する。	①電池がなくなりかかっているため。 ②音量が大きいとき、一時的に電圧が下がるため。	①新しい電池をご用意ください。 ②ご心配いりません。
かすかに音もれる。	音色セレクターがどれも押されていないときに鍵盤をおさえると、かすかに音もれますが、故障ではありません。音色セレクターを押してお楽しみください。	

仕 様

<p>■鍵盤数 44鍵(F1~C5)</p> <p>■音色セレクター オルガン・ストリング・クラリネット・ピアノ・ハーブシコード・ビブラフォン</p> <p>■効果 サステイン</p> <p>■オートリズム 〈リズムセレクター〉 ワルツ・スイング・ロック・ラテン 〈コントロール〉 シンクロスタート・テンポ・ボリューム・テンポランプ</p>	<p>■オートベースコード シングルフィンガーコード・ボリューム</p> <p>■その他 パワースイッチ・パイロットランプ・マスターボリューム</p> <p>■外部端子 HEAD PHONES・AUX OUT(600Ω)・AUX IN(30KΩ)・EXP. PEDAL・DC9V IN</p> <p>■メインアンプ 5W(R.M.S.)</p> <p>■スピーカー 12cm×8cm(4Ω)</p>	<p>■定格電圧 DC9V：単1乾電池6個、電源パック、カーアダプター</p> <p>■消費電力 11W</p> <p>■寸法・外装 (())内は譜面台を立てたとき)間口77cm、奥行29cm〔33cm〕、高さ9cm〔25cm〕、重量5.3kg(電池別)、ABS樹脂ポリウレタンフィニッシュ</p> <p>■付属品 電池ケース、単1乾電池6個、電源パック、譜面立て、ソフトケース</p>
--	---	--

アフターサービスと保証

PORTATONE

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1ヵ年です。尚、現金、ローン、月賦などによる保証の区別はいたしません。

■保証期間の1ヵ年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのヤマハのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“操作上の注意”の項をいま一度お読みいただき、お確かめください。意外に故障ではない場合もあるものです。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障ではない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少しくわしくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

ヤマハのサービス網

全国のヤマハ特約楽器店と下記日本楽器支店が責任をもってアフターサービスを行っております。

●お問い合わせ先

本社／浜松市中沢町10-1・電音サービス課
TEL(0534)65-1111

北海道支店／札幌市中央区南十条西1-4・電音サービス係
TEL(011)512-6114

仙台支店／仙台市原町南目薬師堂北2-1・電音サービス係
TEL(0222)95-6111

千葉支店／千葉市千葉港2-1千葉中央コミュニティセンター内・電音サービス係 TEL(0472)47-6611

関東支店／高崎市歌川町8高崎センター内・電音サービス係
TEL(0273)27-3322

東京支店／東京都中央区銀座7-11-3矢島ビル4F・電音サービス係 TEL(03)572-3341

横浜支店／横浜市中区本町6-61-1・電音サービス係
TEL(045)212-2223

浜松支店／浜松市東伊場2-14-1・電音サービス係
TEL(0534)56-9211

北陸支店／金沢市泉本町7-7・電音サービス係
TEL(0762)43-5341

名古屋支店／名古屋市中区錦1-18-28・電音サービス係
TEL(052)231-2432

大阪支店／大阪府吹田市新芦屋下1-16・電音サービス係
TEL(06)877-5262

神戸支店／神戸市中央区浜辺通り6-1-36・電音サービス係
TEL(078)232-1111

広島支店／広島市安佐南区祇園町西原2205-3・電音サービス係
TEL(08287)4-3787

四国支店／高松市西宝町2-6-44・電音サービス係
TEL(0878)33-2233

九州支店／福岡市博多区博多駅前2-11-4・電音サービス係
TEL(092)472-2151

本社・工場 / 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL 0534(65)1111

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内
TEL 03(572)3111

銀座店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-14
TEL 03(572)3131

渋谷店 / 〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7
TEL 03(476)5441

池袋店 / 〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2
TEL 03(981)5271

横浜支店 / 〒231 横浜市中区本町6-61-1
TEL 045(212)4852

千葉支店 / 〒280 千葉市千葉港2-1/千葉中央コミュニティセンター内
TEL 0472(47)6611

関東支店 / 〒370 高崎市歌川町8 /高崎センター内
TEL 0273(27)3366

大阪支店 / 〒542 大阪市南区末吉橋通4-8/心斎橋ブラザビル東館内
TEL 06(251)1111

心斎橋店 / 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39
TEL 06(211)8331

神戸支店 / 〒651 神戸市中央区浜辺通6-1-36
TEL 078(232)1111

四国支店 / 〒760 高松市西宝町2-6-44
TEL 0878(33)2233

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL 052(201)5141

北陸支店 / 〒921 金沢市泉本町7-7
TEL 0762(43)6111

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL 092(472)2151

福岡店 / 〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内
TEL 092(721)7621

魚町店 / 〒802 北九州市小倉北区魚町1-1-1
TEL 093(531)4331

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター内
TEL 011(512)6111

仙台支店 / 〒983 仙台市原町南目薬師堂北2-1
TEL 0222(95)6111

広島支店 / 〒730 広島市中区基町13-13 平和生命広島ビル8F
TEL 0822(21)4122

浜松支店 / 〒430 浜松市田町32
TEL 0534(54)4115

PORTATONE®は日本楽器製造㈱の登録商標です。

